

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市栗生児童館
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成29年4月1日から平成34年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 29,495人（前年度比 146.0%）          平成28年度 20,202人          平成27年度 20,790人          平成26年度 20,503人</p> <p>《事業》          児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p>・ 指定管理者に支払った費用 32,716千円（ 1,717,268千円） ※前年度は非公募68館分          （ ）は前年度決算額</p> <p>・ その他市が負担した費用 0千円（ 0千円）</p> <p>《収入》</p> <p>・ 使用料収入 0千円（ 0千円）</p> <p>・ その他収入 0千円（ 0千円）</p>
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

### 二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野		所見	評価
I	総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、管理運営団体が作成した「オリエンテーションブック」を用いて職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。	S
III	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	S
IV	サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だけの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境作りに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	S
V	施設固有の基準	読書の楽しさを伝え豊かな情操を育むことをねらいとし、平成29年度は新しい試みとして「朗読クラブ」「よむよむクラブ」を実施し、読書活動の推進に取り組んでいる。また、児童館が新設移転したため、児童館が遠くなった地区の児童を対象に出前児童館を実施し、遊びを提供している。	S

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

### 四 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>今年、43年間という歴史ある児童館から新築移転した栗生児童館として、新たにスタートした一年でした。長年地域の児童館として、住民の皆様を支えられ、愛されてきたという素晴らしい財産を引き継いで、思いも新たに栗生地区での運営に努めてまいりました。</p> <p>地域の子育て支援団体との連携はこれまでと変わらず、栗生小学校区内のほとんどの世帯が加入している「栗っこネットワーク」の活動への参画、特に「栗っこふれあいまつり」では、新しい児童館のクイズなどで地域の方々にPRすることができました。児童クラブ登録児童の大幅増員により、次年度から町内会の集会所をお借りすることができました。「同じ地域の子どもたちのためなら」とタイムシェア利用を快諾していただいたのも、こうした地域の方々と共に子育て支援をしてきた積み重ねがあつてこそ、と自負しております。</p> <p>また、近隣の広瀬マイスクール児童館・落合市民センターとの連携事業『親子であ・そ・ぼ』は、年3回の多様なプログラムで毎年大好評の行事となっております。1月には親子で「小正月の団子さし」を体験し、地域の方を講師に招いて伝統行事にふれることができました。</p> <p>さらに自然豊かな栗生地区で、近くなった蕃山のふもとの地域内にある鬼子母神や薬師寺を地域の方々に教えていただきながら散策する『歴史たんけん隊』では、自分たちの住む地域の歴史を知る貴重な体験となりました。この企画は地域発見シリーズとして、新年度早々に『蕃山のかたくりを見る会』として続くことが決まっています。</p> <p>一年目の児童館として、『ようこそ栗生児童館』『オープンイベント』などの開館行事はもちろん、これまで実施してきた『児童館まつり』『あいあいコンサート』などに加え、新たなニーズに応える様々な行事も展開してまいりました。</p> <p>新館になったことで目新しさもあり、今年度の全体の利用者は増え、新しい乳幼児親子や遊戯室を優先的に使用できる『中高生タイム』に来る中学生も増えました。次年度は、今年取り入れた「自由来館カード」をさらに使いやすく改訂してリピーターを増やし、より一層地域に根ざした児童館を目指してまいります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>新築移転した児童館としてスタートした1年であったが、乳幼児親子を始めとする新たな利用者が増え、利用者数は前年度比146%と大幅に増加している。</p> <p>学校や町内会が中心となって地域で子どもを見守る栗っこネットワークができていく地域であり、児童館も会議や行事に積極的に参加するとともに新たな団体とも連携を図りながら、児童館事業の充実に取り組んでいる。</p> <p>乳幼児向け事業では、発達段階に合わせて気軽に参加できる年齢別の「ひろば」や、子育て支援クラブと連携しながら育児への不安や負担感を軽減する行事等を実施している。また、宮城総合支所管内での子育て支援ネットワーク、子育て支援プロジェクト等にも参加するなど、子育て支援に努めており、評価できる。</p> <p>新たに設定した地域を巡る活動「歴史たんけん隊」は、子どもたちが地域を知る貴重な体験になるとともに、子どもたちが地域住民と交流する機会にもなっている。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室